

## 本日第102回臨時大会

3月9日 13:30より

場所： 東海村 中丸コミュニティーセンター

\*\*\*\*\*

### 分会、支部大会で出された意見など

#### 労組活動全般

- ・今年3月で退職する。原研労組に入ったきっかけは、原研に入所してすぐ、同期の仲間が採用取消になりそうになって、署名などをしたが、その中で労組に加入した。労組に入り、いろいろな人に巡り遭えたし、仕事にもプラスになった。また、大きいのは、問題が多い原子力の中でも、労組の「平和利用3原則を守る」や、原子力問題の諸活動があって、自分の仕事の意味や価値を前向きに考えることができ、元氣よく仕事できたこと。昔と違って、組合に加入する人は少なくなっているが、損得とは別にそういうことも訴えていくとよいと思う。
- ・委員長、書記長が講演会でどのような話をしているのか知りたい。聴衆は、原研労組の意見として聞かざらうし、講演内容を組合員に知らせるべき。
- ・議案書の「平和と教育などの国民的課題」について、内容がある政党（日本共産党）の意見と全く同じなのが不満。組合として議論していないし、議案書の内容はみんなの総意なのか？国民的課題に対して労組としての意見を纏めるのは難しいように思う。
- ・組合活動として「あゆみ」が非組合員に行き渡るように工夫をしてはどうか？食堂が停止している現在食堂前の掲示板、ヤマザキショップ内の「あゆみ」の置き場所はあまり機能していないように思う。

#### 原子力問題

- ・福島支援はやらなければならないだろうが、そればかりやっているとはいけない。なぜこんなことになったのか真摯に反省する必要がある。原子力機構首脳部から反省

の弁がないのはなぜ？（同様の意見多数）

- ・原子力問題、大学などの教育から問題という認識には賛成。さる大学の原子力工学科に対しては、原子力推進の立場の機械工学科の人も「乱暴すぎる」と言っていた。

#### 賃金削減問題

- ・国家公務員の給与削減は、原子力機構にもかかってくるのか？2年間ということだがその後はどうなるのか？
- ・-7.8%の給与削減は原子力機構も呑みそうなのか？
- ・給与削減について自衛隊だけ免除になるのはおかしい。消防や海保だってがんばっているし、原子力機構だってそうだ。国民から見ると自衛隊が復興支援に一番貢献しているように見えるだろうが、国民の意見をそのまま給与に反映しているだけで、政府のやり方は単純すぎる。他の公務員だって復興支援に頑張っている。
- ・来年度から給与が-7.8%削減になるのだろうが、その場合、理事長から何らかの陳謝があつて然るべき。「機構の職員が福島支援で大変な思いをしているのにもかかわらず、給与を削減することになり申し訳ありません」と言ってもらわないと職員も納得できない。言われても納得できない人も多いだろうが。
- ・人によっては10%、子供の教育や住宅ローンを抱えている人は予定が狂ってたいへん。とんでもない削減だ。退職金などはどうなる？
- ・国家公務員の給与削減が行われるようであるが以前にも独法に波及した経緯がある。組合に頑張って欲しい。改定がなされる場合には情報を知らせて欲しい。
- ・人事院勧告に関して機構はどうなるのか。また、独法給与形態は法で定められていないことは承知しているが機構職員給与がどのような仕組みでどのような過程があり決定されるのかを詳しく知りたい。
- ・国家公務員の給与削減が決まった。独法も同じように行われると思われる。やるのであればいつ頃が予想されるのか？給与削減をされるのは非常に厳しい。
- ・スト権はぜひ確立してほしい。スト権がないと、給与削減反対の運動に差し支える。

#### 職員住宅駐車場、厚生関係など

- ・バス、電車などの公共交通機関で出勤しているものが、所有の自動車を住宅の駐車場に停めている場合には、駐車場料金免除になるのか？こういう人まで免除になるのはおかしいと思う。
- ・駐車場料金免除者の割合はどのくらいか？免除者が余りにも多い場合、国から何か

言われないか？後で遡って支払えといわれないか心配。

- ・ 駐車場料金をとることになったら、駅近くの駐車場に駐車して出張に行くことが出来なくなる。今までもダメだった？こういうときに、タクシーを使って駅まで往復した場合、タクシー料金は支払われるのか？駐車場が空いているのに止められないのは管理としておかしくないか？事前に連絡して駐車場の空きスペースに止められるようにした方が、タクシー代を機構が払わなくていいし、予算削減になるだろう。その方が職員もストレスがたまらないし。
- ・ 出張のときに車を駅近くの寮に駐車していいかどうか問い合わせたらダメだと言われた。だからタクシーを使っていこうとしたが、朝早すぎてタクシーが使えなかった。駐車場をもっと合理的に管理して欲しい。
- ・ 駐車料金の徴収が始まるようだがその使い道はきちんと決められているのか？
- ・ 駐車場料金の徴収と言うことで1台は免除されるが2台目の減免措置は存在しないのか？住宅で駐車上が整備されて居る箇所もあるが庭に止める住宅も存在する。そこで駐車料金を取ると言うことに理解が出来ない。

### 福島関連の勤務など

- ・ 福島兼務者が、自分の宿泊代数 10 万円を立替えているのはおかしい。宿泊に必要な料金くらい事前に調査、準備できるだろう。
- ・ 福島での職員の健康問題は出ていないのか？福島には職員の健康問題に対応するものは居るのか？
- ・ 兼務辞令がでるからということで、出張で行った。何もガイダンスがなかったので、数日で帰れると思ったが、しばらく戻れなかった。そのようにいわれていれば、準備もできた。仕事の内容や勤務形態、兼務の日数割合などきちんと示してほしい。
- ・ 福島へ出向・短期支援で行った人たちから「食」に関し非常に困っているという話を聞く。「食」は健康面、仕事に対するモチベーションの向上といったことに係わる重要なものと考え。組合としてはもっと食の問題について取り組んでもらいたい。

### その他

- ・ 消費税増税問題、社会保障と税の一体改革として問題点を議論したい。

\*\*\*\*\*

## 大会スローガン (案)

- 一、原子力平和利用三原則を厳守させよう
- 一、憲法違反の疑いがある給与削減に反対しよう
- 一、国民不在の消費税などの増税に反対しよう
- 一、国民の要求に沿った福島支援を推進させよう
- 一、組合の存在意義を語り、組織強化を図りつつ活力ある労働組合をつくろう
- 一、福島原発事故を正面から見つめ、国民の負託に応えていこう
- 一、増税の露払いの役目となるような独法改革を許さず、国民や労働者の利益となるような見直しをさせよう
- 一、福島支援などによる業務の見直しや人事異動は、個人の同意を尊重させよう

\*\*\*\*\*

## 大会決議 (案)

昨年 3 月 11 日の大震災、福島第 1 原子力発電所の事故から、1 年になろうとしている。被災地の復興は、まだまだ先が見えず、原子力事故で避難した住民の多くは、いまだに住み慣れた場所に戻れないでいる。被災地以外でも、生活環境の放射能汚染、食物の汚染に不安を感じる住民も多い。原発に対する批判が広まり、国も原子力機構も先の展望を持つことができていない。

このようなとき、我々は大会を開催した。この大会の議論で我々は、①原子力のこれまでのあり方を批判的に検証すること、②率直な反省のもとに将来の方向付けを考えること、③それを「公開、民主、自主」の平和利用三原則を守りつつ進めることが大切であることを確認した。前回大会以来、労組は原子力問題を考えることを運動の柱にしてきたが、今後もより強力に進める。

一方、我々公的機関労働者の労働条件については、ますます切り下げ圧力が強くなっている。2 月 29 日には、国家公務員の給与削減法が成立し、平均 7.8% の削減がなされることになった。憲法違反ともいえる暴挙である。現時点で、原子力機構からの削減提案はないが、内閣は独立行政法人についても、同様の削減を要請しており、大幅な賃金削減提案がなされる可能性が高い。われわれは、不当な削減には応じず、断固戦う。